

2022年6月27日月曜日19時～

リスタート生向け ホームルーム

セミナー担当：[財務理論] 平林

Q&A担当：[財務計算] 小野
[管理会計] 安達
[財務理論] 平林/蓮尾

本日の内容

はじめに 2

- ・本セミナーのねらい ・ お知らせ（簿記スタンプラリー、「正しい成績の見方」、テキストチェックゼミ等）

I. リスタートのポイント 8

- ・ 講義の位置付け

II. 各科目 肢別解答率 11

III. 今後のスケジュール 15

- ・ 12月までのスケジュール ・ アクセス範囲表 ・ テキスト切り替えについて等

各種質問・相談窓口・情報提供等

- ・ 校舎/zoom質問コーナー ・ 個別成績/学習方法相談
- ・ TAC会計士講座 就職サポート ・ 上級コース案内

本セミナーのねらい

合格発表後、リスタート生の方からよくいただく、以下の疑問・不安の解消

- 「今後気を付けるべきポイントが知りたい。」・・・p.8
- Web論点別講義・短答対策講義の位置付け・内容について・・・p.8、10

事前質問から

「web論点別講義や短答対策講義などの位置付けを教えてくださいたいのですが、これらの講義は、過年度生は全て受けるべきですか？それとも必要に応じて自分で受けるべきと判断したものについてのみ受けるべきですか？」

「今回から関西の先生方の講義を受講できるということですが、全ての科目において、関西の先生はインプット中心、関東の先生はアウトプット中心の講義になっているんですか？」

- 「ボーダー付近だったため、これから短答の振り返りを行う。
振り返る際のポイントや、考えられる問題点が知りたい」・・・p.11~14
- 「今後のスケジュールが知りたい。」・・・p.15
- 「計算のテコ入れが必要だが、どの教材を活用すればよいか」・・・p.17~
- テキストの切り替えについて・・・p.21~

事前質問から

「先日、2023年目標のテキストを全て受け取り、今後の勉強の中心を2023年目標のテキストに切り替えていくつもりです。2022年目標のテキストの書き込みなどは2023年テキストになるべく書き写していった方がいいですか？」

「23年目標に申し込みました。教材は管理会計は22年目標のままで大丈夫だと聞いたのですが、財務会計は変えた方が良いでしょうか？社会人で時間もない中、テキストが膨大な量な為、悩んでいます。」

はじめに(お知らせ)

主なオンラインセミナー等

TAC5月短答後関連情報まとめページ

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/sokuhou_5gatsu_tantou.html

解答速報・解説・奨学生試験・上級コース等



短答後情報



TAC YouTube



奨学生試験

【Youtube配信済み】

- 各科目解答解説動画
- 6/4(土) **リスタートセミナー** (岡本・岡田・平林)

【Web school配信済み】

- 5/30(月)短答後Q&A・6/6(月)追加開催Q&A

今後実施

- 6/29(水)19時～奨学生試験@全国各校舎(八重洲校・中大駅前校以外)

- 7/2(土)10時～16時40分 【オンライン】簿記スタンプラリー

- 7/2(土)17時～18時30分 【オンライン】短答リスタート交流会

- 7/6(水)19時30分～21時 【オンライン】財計テキストチェックゼミ初回

- 7/8(金) ¹⁸~~19~~時～21時 【オンライン】上級期学習法ホームルーム

18時～HR

19～21時交流

- 7/10(日)14時～【新宿校】リスタート生ホームルーム・交流会

はじめに(お知らせ)

データリサーチ特典映像「正しい成績表の見方」について (視聴期限2022年8月31日)

- データリサーチ結果確認画面上部「資料」から

公認会計士 データリサーチ

① 注意事項 資料(PDF) 印刷する

総合診断

※ TAC独自の見解に基づき判定しており、試験実施団体から発表されたものではありません。

▼

資料 (PDF)

【重要】データリサーチ「総合判定」の表示について2022-2.pdf
データリサーチ「特典動画」視聴方法のご案内2022-2.pdf
TACCPA2022-2-DR中間集計版.pdf
TACCPA2022-2-DR最終集計版.pdf
TACCPA2022-2-DR合格発表版.pdf

簿記



オンライン版

スタンプラリーに

参加して**基礎力のチェック**をしよう!!

ご要望に
お応えして
急遽開催
決定!

2022年12月短答式試験の合格に向けて、財務会計論（計算）の集中特訓をオンラインで開催します!当日はTAC講師陣が、個別にオンラインで質問をお受けします!
しっかりと簿記をマスターし、今のうちに基礎を徹底的に固めておきましょう。

～ スタンプラリー ルール説明 ～

交流会
つき!

1

ミニテストのデータを
事前に共有します。
自分で問題を解き
自己採点して
ください。

2

満点が取れたら次の
テストに進み、
取れなかった方は、
再度やり直し
(テキスト参照OK)

3

2回解いても
わからなかった問題は
講師へ
質問をしてください。

4

全問満点を
取れた方から
自由解散とします。

5

17:00～18:30にて
オンライン交流会を
別途行います。
親睦を深めたい方は
是非ご参加ください!

対 象

- ・ 2022年5月短答式試験を受験されたTAC本科生の方
- ・ 2023年合格目標 公認会計士講座 TAC本科生の方で3/28・6/27開催の簿記スタンプラリーに参加できなかった方

日 時

2022年7月2日(土) 10:00～16:45

定 員

最大300名まで(先着順)

参 加 方 法

参加無料／予約不要 (詳細はTAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」をご覧ください。)

用意するもの

電卓・ミニテスト (事前にデータを共有します。
必要に応じて各自で印刷してください。)

内 容

基礎マスターI～IVのミニテストを満点が取れるまで解き、
わからない問題はオンライン上で講師に質問して、疑問点を
解消してください! 終了後は簡単な交流会も実施します!

当イベントは
Zoomを利用して開催します。
参加者側の映像・音声は
共有されますので、
予めご了承ください。
(ビデオオフでの参加も可能です)

TAC 公認会計士講座

／ オンライン開催 ／

財務計算 テキスト チェックゼミ

短
答
対
策

2023年合格目標 各種本科生
＜短答再受験生 推奨＞

藤野伸哉 講師 担当

／ 受講生参加型のオンラインイベント！ ／

受講生の皆様にリアルタイムで参加いただき、講師との質問形式で「テキストを見ずに会計処理・処理の注意点を思い出せるか？」「計算処理の意味づけ（理論との関連など）ができているか？」「テキストで見落としがないか？」等を確認していきます。当ゼミで初見の問題に対応できる力を身につけましょう！

開催日時

講義数
全**10**回

第1回
7/6 (水)
19:30~21:00

※第2回以降の開催日時・テーマにつきましては、TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」に順次掲載いたします。

受講料

無料

対象者

2023年合格目標 各種本科生
＜短答再受験生 推奨＞

参加方法

【事前予約制】 TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」よりご予約・ご参加ください。

学習テーマ

第1回は「現金及び預金、手形取引、有価証券、外貨換算会計」の論点について、講師より解説、理解度の確認を行います。出題範囲は「計算テキスト① 第2～6章」です。

【参加にあたっての注意事項】

- ・当オンラインゼミは、後日、アーカイブ配信予定です。詳細はTAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」にてご案内します。
- ・当ゼミはZoomを利用して実施します。事前にアプリケーションをダウンロードの上、操作方法等をご確認ください。
- ・受講生参加型のゼミです。受講生の皆さまの音声も配信されますので予めご了承ください。（視聴者としても参加できます）

リスタートのポイント

1. 受験生全体の**正答率の高い問題**について原因分析し、現時点で**不足している力を特定**する。

★正答率60%～全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。

詳しくは P.11～

ex. **テキストを見ながらであれば解けたか？(input)**
時間配分？やらかしミス？(output)

2. 7月末・8月下旬・9月下旬などに、個人目標を設定する。

計算が苦手な場合、最優先で復習する。まず早急にテキスト例題・トレーニング等。

7月から短答対策講義開始。問題ではなく論点をつぶす。

7月11日頃から短答アクセス、8月下旬短答基礎答練1、9月下旬短答基礎答練2

10月から直前答練開始。

3. **全科目テキストを大事に、短答論文同時進行の意識で対策を進める。**
基礎的な概念・処理を口頭で説明できるか。

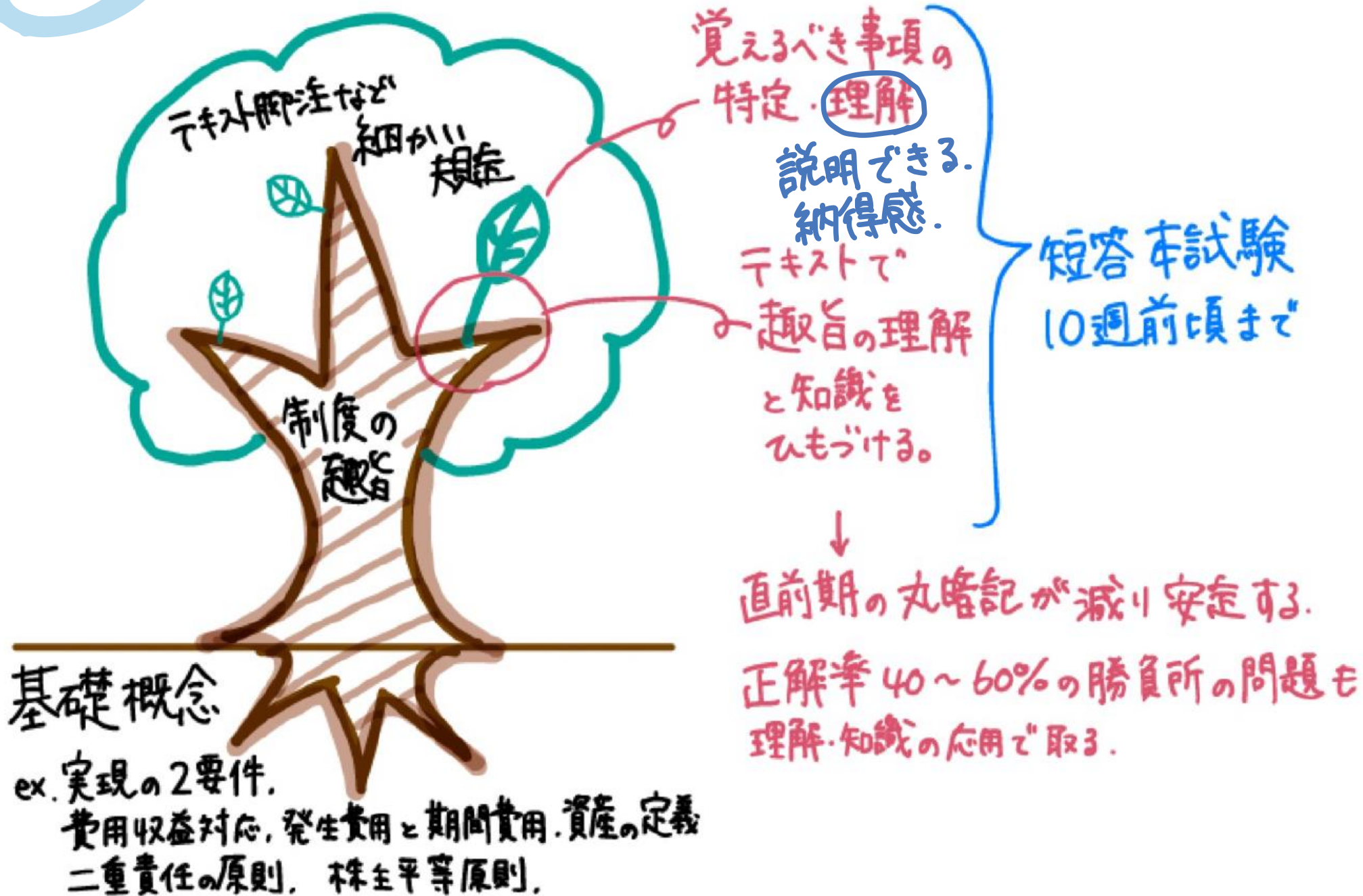
取り組んでいる分野について、短答対策も論文対策も行っている意識を大事にする。

問題集は、あくまで**テキストの理解・暗記の穴や、アウトプット時の行動修正**のきっかけとする。

★Youtubeで**6/4(土) リスタートセミナー【岡本・岡田・平林】アーカイブ**を必ず視聴する。
(まず冒頭37分間の総論部分)。

★不足している力を補うために、**不足している力に応じて、受験経験者向け講義**を活用。

テキスト等の内容を理解し、ある程度口頭で説明できるようにする。
納得感を持てるようにする。



不足している力を補うために、
目的に応じて受験経験者向け講義を活用。



各講師 講義方針

インプットを強化したい場合 (試験中の時間配分・難易度見極め・正誤判断)

- 特に手薄な論点について、「WEB論点別対策講義」をピンポイントで活用。

★財務理論については、短答論文共に重要であるため、全て受け直してもOK。

特に、第2～6章は根本概念だが手薄になりやすいため、

5月に合格点を取れている場合でも受け直しておく。

ex. 「資本取引」とは? 「発生費用」と「期間費用」はどのように異なるか?

- 関西収録版 短答対策講義 (管理・監査論・財務理論・企業法) を活用し、テキスト・条文の重要論点について適宜活用して理解強化 (財計は、関東/関西共に解法テクニック)。

アウトプットを強化したい場合 (試験中の時間配分・難易度見極め・正誤判断)

- 主に関東収録版 短答対策講義 (一部関西収録版) で、過去問を用いた演習。

ex. 10月以降の直前答練開始よりも前に、時間配分・解く際の行動の修正等を図りたい場合

5月短答 肢別解答率 企業法

60%～全取りだと45点

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。
 ex. 時間配分? やらかしミス? テキストを見ながらであれば解けたか?
 $4 - 60\% \text{ 8問} \times 6 \text{割} = 24 \text{点}$
 $= 69 \text{点}$

企業法	出題テーマ	正解	配点	正解率 (%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	個人商人の名板貸し	2	5		3%	74%	3%	10%	2%	7%
問題 2	商行為	6	5		2%	7%	11%	10%	22%	44%
問題 3	設立時募集株式の引受人	6	5		0%	4%	4%	2%	3%	83%
問題 4	株主の権利	3	5		4%	4%	55%	5%	21%	7%
問題 5	単元株式	1	5		78%	1%	1%	9%	8%	0%
問題 6	株券	5	5		9%	3%	22%	7%	49%	7%
問題 7	株主総会	1	5		78%	1%	15%	1%	2%	0%
問題 8	株主の議決権の代理行使	5	5		0%	0%	1%	6%	81%	9%
問題 9	株主総会の議事	1	5		93%	2%	3%	0%	0%	0%
問題 10	監査等委員会－取締役の報酬等	2	5		25%	55%	4%	9%	2%	2%
問題 11	特別取締役による取締役会決議	6	5		0%	3%	2%	4%	1%	87%
問題 12	会計参与	3	5		23%	8%	54%	3%	7%	2%
問題 13	電子公告－BS・PLの公告	5	5		31%	10%	3%	35%	19%	1%
問題 14	資本金及び準備金	6	5		1%	19%	6%	2%	2%	68%
問題 15	社債権者集会	4	5		10%	30%	6%	45%	2%	4%
問題 16	事業の譲渡等	4	5		6%	14%	5%	61%	4%	7%
問題 17	組織再編－反対株主株式買取	3	5		10%	19%	15%	30%	15%	8%
問題 18	株式交付	2	5		6%	46%	12%	16%	6%	11%
問題 19	確認書提出義務	4	5		5%	23%	4%	54%	5%	6%
問題 20	発行者による公開買付け	6	5		8%	44%	20%	8%	5%	12%

考えられる原因

- ☐ 手薄な論点があった
- ☐ テキストをあまり読んでおらず、問題集でインプットしていた
- ☐ 直前期にテキスト偏重で問題演習不足
- ☐ 問題集の表現で覚えており、具体的なイメージができず、表現が異なると判断ができなくなった

★7～9月中にテキスト太枠・図表を中心に納得感が持てるように。気になったら条文確認。

8月中まではごく簡単な問題(ミニテストや短答問題集のうち★3つ以上のA、早まり肢別問題集など)からテキストへ戻るなど。

5月短答 肢別解答率 管理会計論

60%~全取りだと 理6問 計3問 22点
 4-60% 理2問 計1問 18点
 12
 =52点
 x6割 = 10.8
 = 62.8点
 + 2.8点

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。

ex. 時間配分? やらかしミス? テキストを見ながらであれば解けたか?

管理会計論	出題テーマ	正解	配点	正解率 (%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	理：費目別計算・個別原価計算	5	5		5%	9%	35%	14%	24%	10%
問題 2	計：原価計算総論・費目別計算		8		12%	7%	41%	9%	19%	9%
問題 3	理：個別原価計算	1	5		80%	4%	5%	2%	5%	1%
問題 4	計：部門別計算一階梯式配賦法	5	7		1%	1%	4%	4%	86%	1%
問題 5	理：総合原価計算	2	5		1%	88%	4%	1%	1%	3%
問題 6	計：総合原価計算	2	8		4%	51%	30%	9%	3%	0%
問題 7	計：標準一標準原価差異	4	7		5%	1%	6%	76%	10%	0%
問題 8	理：標準原価計算	1	5		75%	6%	11%	2%	4%	0%
問題 9	理：管理会計総論	4	5		0%	3%	1%	77%	3%	13%
問題 10	計：業務意思一最適SM	6	7		19%	9%	36%	10%	8%	16%
問題 11	理：予算管理	5	5		28%	5%	34%	2%	25%	3%
問題 12	理：原価管理	3	5		2%	4%	64%	3%	10%	14%
問題 13	計：ABC/ABM	6	8		2%	4%	19%	7%	2%	63%
問題 14	計：業務意思一販売・追加加工	4	8		6%	20%	39%	26%	6%	0%
問題 15	理：分権組織とグループ経営	1	5		78%	6%	3%	6%	4%	1%
問題 16	計：投資意思一NPV・取替	2	7		7%	36%	24%	10%	15%	5%

考えられる原因

難易度A.

理論 ☐ 手薄な論点があった ☐ 問題でインプットしており、テキストの周辺論点暗記が不足

☐ 問題集の表現で覚えており、具体的なイメージができず、表現が異なると判断ができなくなった

計算 ☐ 手薄な論点があった ☐ テキストの体系的な理解・暗記が不足。間違えた時だけテキストに戻っていた

☐ 数字が合わない時に粘り過ぎてしまった（最初の難易度判断に固執） ☐ 論点で難易度判断していた

★7~9月中にテキストの理解・暗記。トレーニングの解法プロセスが口頭で説明できる状態に。

難易度の見極めについては、10月の直前答練が始まるまでは関東の短答対策講義を利用。

直前期は、テキスト暗記→その単元の理論問題・計算問題をサンプルテストとして解く（テキストの内容を想起）。

6/4七ミテ

5月短答 肢別解答率 監査論

60%~全取り 60点

4-60% 7問 × 6割 = 21点

=81点

75はいい

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。

ex. 時間配分? やらかしミス? テキストを見ながらであれば解けたか?

監査論	出題テーマ	正解	配点	正解率 (%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	我が国の公認会計士監査の歴史	5	5		10%	1%	13%	2%	72%	1%
問題 2	公認会計士法における監査法人	2	5		20%	53%	7%	11%	3%	4%
問題 3	金融商品取引法監査制度	3	5		5%	8%	71%	2%	6%	4%
問題 4	金融商品取引法監査制度	1	5		59%	6%	5%	9%	17%	1%
問題 5	金融商品取引法監査制度	4	5		9%	7%	2%	66%	8%	5%
問題 6	会社法における監査制度	1	5		66%	4%	15%	2%	9%	1%
問題 7	会社法における会計監査人監査	3	5		2%	15%	74%	1%	1%	4%
問題 8	四半期レビュー	6	5		0%	1%	0%	8%	9%	78%
問題 9	監査・四半期レビュー業務審査	5	5		3%	0%	2%	10%	74%	7%
問題 10	監査の品質管理	4	5		26%	8%	1%	62%	1%	0%
問題 11	監査基準の改訂	4	5		4%	5%	2%	75%	6%	5%
問題 12	G A A S	5	5		0%	0%	1%	3%	87%	7%
問題 13	職業的専門家の懐疑心等	6	5		0%	0%	1%	3%	24%	69%
問題 14	監査証拠の適合性	6	5		1%	16%	2%	20%	3%	55%
問題 15	会計上の見積り	6	5		1%	9%	7%	12%	8%	59%
問題 16	その他の記載内容		5		48%	13%	6%	18%	11%	2%
問題 17	監査意見又は監査報告	3	5		16%	3%	43%	6%	27%	2%
問題 18	比較情報の監査	2	5		4%	52%	2%	34%	1%	4%
問題 19	後発事象等の監査	3	5		9%	22%	50%	2%	4%	9%
問題 20	不正リスク対応基準	1	5		63%	5%	14%	4%	11%	1%

考えられる原因

- ☐ 手薄な論点があった
- ☐ 問題でインプットしており、テキストの論点暗記・体系的な理解が不足
- ☐ 初見の問題を見た時に、テキスト関連ページではなく、どこかで見た問題が頭をよぎった

★7~9月中に、短答問題集を使いつつ、テキストの理解を進める。

基礎概念(章扉「重要コンセプト」)は口頭で説明できるように。直前期は、テキスト暗記→その単元の問題

5月短答 肢別解答率 財務会計論

2022年6/27(月)リスタートHR

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。4-60% 理7問 計個5問 連5/6 = 116

ex.時間配分?やらかしミス?テキストを見ながらであれば解けたか?

理2問 計個5問 連1問 = 60
60×6割 = 36 = 152点

財務会計論	出題テーマ	正解	配点	正解率 (%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	理：財務会計の基礎概念	2	8		2%	86%	4%	4%	0%	2%
問題 2	理：企業会計原則の一般原則等	3	8		4%	1%	74%	0%	14%	4%
問題 3	計：売掛・受手・電子記録債権	1	8		66%	11%	9%	7%	3%	1%
問題 4	計：棚卸資産	2	8		1%	79%	5%	6%	2%	4%
問題 5	計：無形固定資産	2	8		2%	37%	10%	40%	6%	3%
問題 6	計：流動負債	4	8		3%	7%	18%	53%	10%	5%
問題 7	計：資産除去債務	4	8		2%	1%	4%	84%	4%	1%
問題 8	理：純資産－自己株式	1	8		95%	1%	0%	1%	1%	0%
問題 9	理：包括利益の表示	4	8		13%	3%	2%	75%	5%	1%
問題 10	理：1株当たり当期純利益	6	8		1%	1%	8%	18%	28%	41%
問題 11	計：CF計算書・外貨換算会計	4	8		7%	6%	28%	39%	14%	4%
問題 12	計：貸倒引当金	5	8		3%	31%	25%	7%	26%	5%
問題 13	計：ストック・オプション	6	8		4%	3%	9%	4%	26%	52%
問題 14	理：リース取引	1	8		62%	2%	15%	0%	18%	1%
問題 15	計：収益認識	5	8		4%	5%	15%	11%	54%	9%
問題 16	計：退職給付会計	2	8		6%	41%	32%	5%	8%	5%
問題 17	理：税効果会計	6	8		2%	13%	2%	15%	5%	60%
問題 18	計：外貨換算会計－予約・振当	1	8		74%	8%	10%	4%	1%	1%
問題 19	理：持分法会計	3	8		11%	9%	50%	4%	15%	9%
問題 20	計：固定資産の減損	4	8		8%	24%	2%	59%	3%	1%
問題 21	計：研究開発とソフトウェア	5	8		3%	5%	15%	9%	60%	5%
問題 22	理：企業結合・事業分離等	6	8		1%	7%	2%	17%	3%	67%
問題 23	総：連結－関連会社株式	3	4		2%	7%	81%	4%	1%	2%
問題 24	総：連結－段階取得に係る差益	2	4		3%	75%	13%	2%	3%	2%
問題 25	総：連結－のれん	4	4		2%	3%	11%	65%	14%	3%
問題 26	総：連結－関連会社株式	2	4		7%	58%	18%	8%	5%	1%
問題 27	総：連結－非支配株主持分	2	4		4%	77%	10%	3%	3%	1%
問題 28	総：連結－関連会社株式	2	4		1%	74%	13%	3%	3%	3%

考えられる原因

理論□手薄な論点があった □問題でインプットしており、テキストの論点暗記・体系的な理解が不足

□違う表現だと理解ができず判断できなかった(特に伝統論)

★7～9月中に、短答問題集を使いつつ、テキストの理解を進める。基礎概念(各章扉の「word」)は口頭で説明できるように。

財理はWeb論点別講義を全て見てもOK。特に2～6章は必ず見直しておく。

計算□手薄な論点があった □当初の難易度の判断に固執した(数字が合わず粘った) □知識暗記不足 □やらかしミス □スピード不足

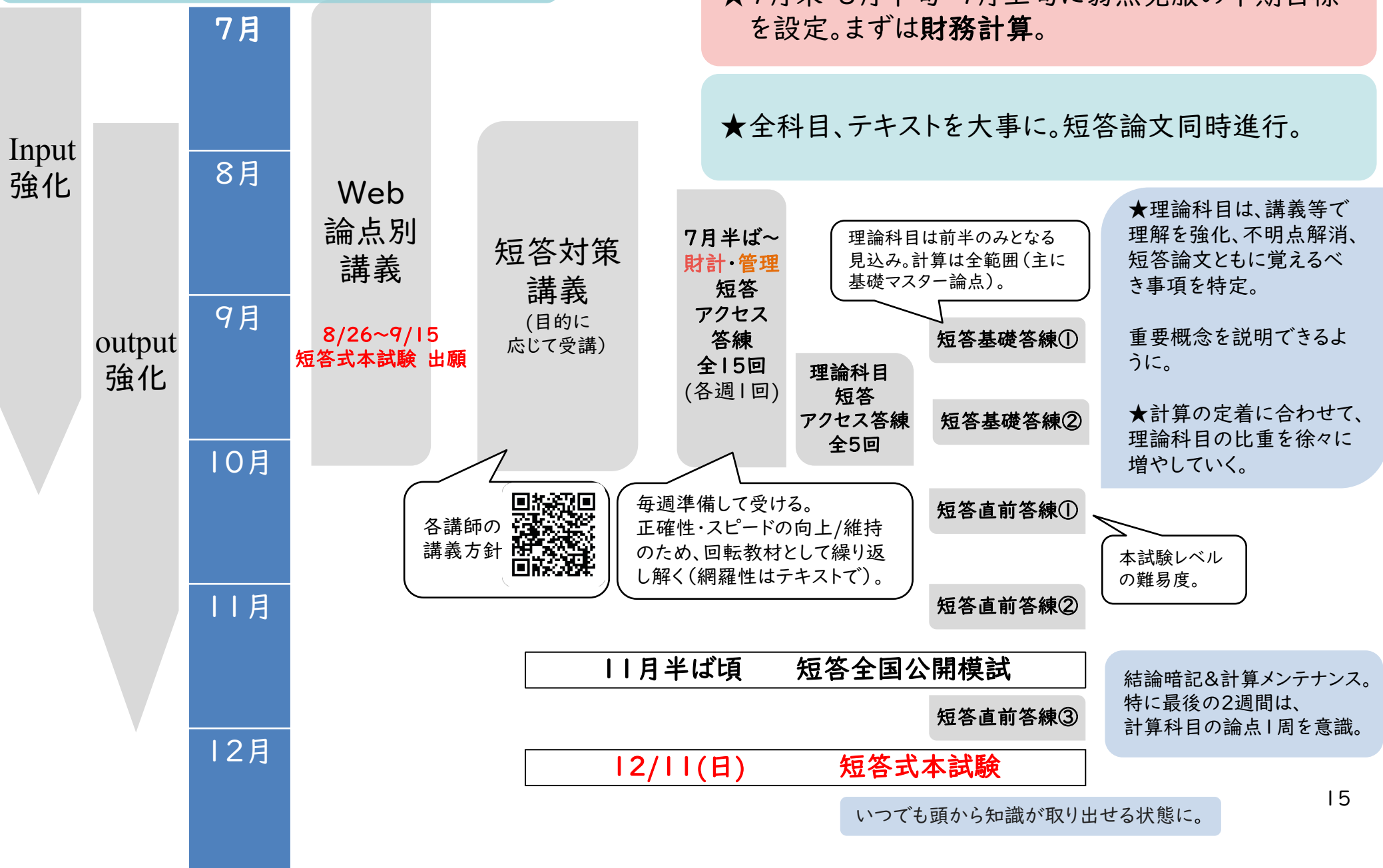
★計算の対策について、詳しくはスライドp.17～ 直前期は、問題→テキストざっと確認(2週間以内1周を目安)

12月短答までの大まかなスケジュールとポイント(上級本科生)

★正解状況の分析。
インプット・アウトプットの不足等原因特定。

★7月末・8月下旬・9月上旬に弱点克服の中期目標を設定。まずは財務計算。

★全科目、テキストを大事に。短答論文同時進行。

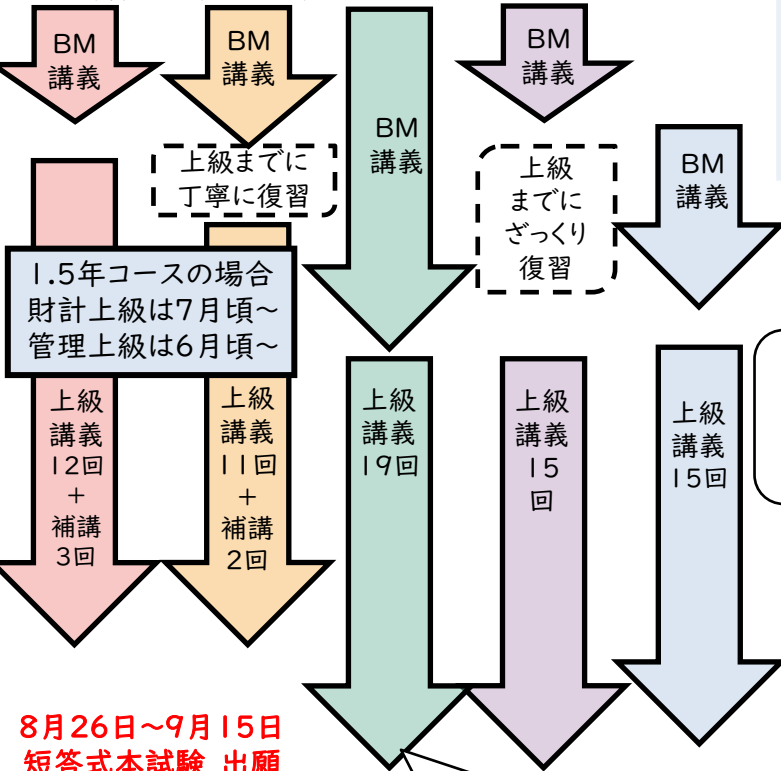


【参考】初学者の場合のスケジュール目安

2022年3/30(水)23目標ホームルームから抜粋

2年コースの場合

財務計算 管理会計 財務理論 企業法 監査論



財計・・・トレーニング+テキスト例題がスラスラ解けるように。
管理・・・テキストを大事にしつつ、自信を持ってトレーニングが解けるように。

★双方、解法プロセスが説明できるか?を意識する。

毎週準備して受ける。
 正確性・スピードの向上/維持のため、回転教材として繰り返し解く(網羅性はテキストで)。

5/29(日) 短答式本試験(試し受験)
 既習範囲の総復習をして受験。特に財務・管理。

6月簿記1級

理論科目は前半のみとなる見込み。計算は全範囲(主に基礎マスター論点)。

★理論科目は、不明点解消、覚えるべき事項を特定。

★計算が定着に合わせて、理論科目の比重を徐々に増やしていく。

7月半ば～
財計・管理
 短答
 アクセス
 答練
 全15回
 (各週1回)

短答基礎答練①

短答基礎答練②

短答直前答練①

短答直前答練②

短答直前答練③

理論科目
 短答
 アクセス答練
 全5回

出題範囲の復習を進める。4肢で判断する練習。

本試験レベルの難易度。

暗記&計算メンテナンス。特に最後の2週間は、計算科目の論点1周を意識。

8月26日～9月15日
 短答式本試験 出願

※途中、財理は講義が週2回ペースになる週が数回ある。

11月半ば頃 短答全国公開模試

12/11(日) 短答式本試験

いつでも頭から知識が取り出せる状態に。

短答アクセス出題範囲表

★毎週予習をして受験。

詳しくは、23目標webschool配信済みのアクセスオリエンテーションを受講。



アクセス日程

2023年合格目標 アクセス 出題予定表

短答対策 第1回～第15回

< 財務会計論（計算） >

回数	出題内容
第1回	現金及び預金、有価証券、外貨換算会計、ヘッジ会計
第2回	貸倒引当金、棚卸資産、研究開発費とソフトウェア、資産除去債務
第3回	有形固定資産、無形固定資産、投資その他の資産、繰延資産、固定資産の減損、リース取引
第4回	引当金、退職給付会計、社債、外貨換算会計、金融商品、ヘッジ会計
第5回	純資産の部、自己株式、新株予約権、新株予約権付社債、自己新株予約権、株主資本等変動計算書、分配可能額、ストック・オプション
第6回	本支店会計、税効果会計、収益認識
第7回	連結財務諸表
第8回	連結財務諸表
第9回	企業結合、事業分離
第10回	個別キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書
第11回	固定資産の減損、リース取引、会計上の変更及び誤謬の訂正、株主資本等変動計算書、連結財務諸表、連結キャッシュ・フロー計算書、共同支配企業の形成
第12回	連結財務諸表、四半期財務諸表、一株当たり当期純利益、セグメント情報
第13回	企業結合、事業分離、被結合企業の株主に係る会計処理、資産除去債務、税効果会計、連結財務諸表
第14回	取締役の報酬等として株式を無償交付する取引、退職給付会計、連結財務諸表、連結キャッシュ・フロー計算書
第15回	特殊商品売買、帳簿組織、伝票会計、連結財務諸表、企業結合、事業分離

< T A C > 無断複写・複製を禁じます（23年合格目標）

2023年合格目標アクセス財務会計論 第1回出題範囲

出題分野	出題論点	2023年合格目標テキスト参照頁
現金及び預金	現金	基本テキスト① P 18
	先 日 付 小 切 手	基本テキスト① P 20
	未 渡 小 切 手	基本テキスト① P 21
	現 金 過 不 足	基本テキスト① P 29
	長 期 性 預 金	基本テキスト① P 41
	当 座 預 金	基本テキスト① P 42
	当 座 借 越	基本テキスト① P 48
	銀 行 勘 定 調 整 表	基本テキスト① P 52
	有 価 証 券	取 得 基本テキスト① P 112
	売 却	基本テキスト① P 114
有 価 証 券	端 数 利 息	基本テキスト① P 119
	決 算 時 の 処 理	基本テキスト① P 126
	有 価 証 券 の 減 損 処 理	基本テキスト① P 156
	親 会 社 株 式	基本テキスト① P 160
	株 式 分 割 ・ 併 合	基本テキスト① P 162
	約 定 日 基 準 と 修 正 受 渡 日 基 準	基本テキスト① P 178
	有 価 証 券 の 保 有 目 的 区 分 の 変 更	基本テキスト① P 184
	未 収 配 当 金	基本テキスト① P 198
	その他資本剰余金の処分による配当を受けた株主の会計処理	基本テキスト① P 200
	新株予約権の取得者側の会計処理	基本テキスト① P 202
外 貨 換 算 会 計	外 貨 建 有 価 証 券	
	売 買 目 的 有 価 証 券	基本テキスト① P 240
	満 期 保 有 目 的 の 債 券	基本テキスト① P 241
	そ の 他 有 価 証 券	基本テキスト① P 244
ヘ ッ ジ 会 計	減 損 処 理	基本テキスト① P 252
	時 価 ヘ ッ ジ	基本テキスト① P 351

2023年合格目標 アクセス 出題予定表

短答対策 第1回～第15回

< 管理会計論 >

回数	出題内容
第1回	原価計算総論、費目別計算、部門別計算
第2回	製造間接費の配賦計算、個別原価計算、総合原価計算
第3回	総合原価計算、標準原価計算
第4回	標準原価計算、直接原価計算
第5回	管理会計総論、財務情報分析
第6回	後日公表いたします。
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

（23目標から解説中ipad書き込みなど、新方式導入。）

計算が苦手な場合 6・7月は計算中心!

【具体的な進め方の例】

●6月上旬「苦手を潰す」

テキスト例題を解く。まずはテキスト①～⑨+追加論点講義テキスト

2週間以内(1日1冊弱)に確認。▶苦手論点を洗い出してweb論点別講義で補完する

●6月下旬「全体復習する」

具体的には、トレーニング・トレーニング短答・過去問集(虫食いでいろんな論点に触れる)
解けなければ再度、テキスト例題まで戻る。

問題を解く際はすぐに解答を見ないように!

テキスト見ながらでもよいので、考えて解く。処理を口頭で説明できるか?

(アクセスが始まるまでもう1周できるとベスト)

●7月中旬 アクセスの出題範囲表に合わせて、さらにもう一回復習

アクセスの予習の際には 上記3点セットに+テキストの読み込み

★テキストを読む際・・・論点ごとにメリハリを付ける!

不安・苦手な論点→例題まで解いてみる。

大丈夫かなという論点→例題まで解く必要はない。

※特にPL・BSの区分に注意

7月までにトレーニングと過去問集「易」レベルは完璧に解けるような状態に。

テキスト例題・トレーニングを解く際には、 「シート」を利用。

期中仕訳・決算整理仕訳を意識。

【例題１－１】 リース料支払時

(1) ×１年１月１日（リース開始時）

(借)	(貸)
-----	-----

(2) ×１年12月31日（リース料支払時）

(借)	(貸)
-----	-----

(3) ×２年12月31日（リース料支払時）

(借)	(貸)
-----	-----

【例題１－２】 リース資産及びリース債務のＢ／Ｓ表示

(1) ×１年１月１日（リース開始時）

(借)	(貸)
-----	-----

(2) ×１年12月31日（リース料支払時）

(借)	(貸)
-----	-----

(3) ×１年12月31日（決算整理）

(借)	(貸)
-----	-----

(4) 貸借対照表（×１年12月31日）

貸 借 対 照 表	
Ⅱ 固 定 資 産	Ⅰ 流 動 負 債
１．有形固定資産	リ ー ス 債 務 ()
リ ー ス 資 産 ()	Ⅱ 固 定 負 債
	リ ー ス 債 務 ()

【例題１－３】 減価償却

① 所有権移転ファイナンス・リース取引

(借)	(貸)
-----	-----

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引

(借)	(貸)
-----	-----

【例題３－１】 合 併（取得が複数の取引で達成された場合）

(1) 個別上の合併仕訳（Ａ社）

① 振戻処理

(借)	(貸)
-----	-----

② 合併仕訳

(借)	(貸)
-----	-----

(2) 合併後Ａ社個別貸借対照表

貸 借 対 照 表	
諸 資 産 ()	諸 負 債 ()
土 地 ()	資 本 金 ()
の れ ん ()	資 本 剰 余 金 ()
	利 益 剰 余 金 ()
()	()

(3) 連結修正仕訳

(借)	(貸)
-----	-----

(4) 連結貸借対照表

連 結 貸 借 対 照 表	
諸 資 産 ()	諸 負 債 ()
土 地 ()	資 本 金 ()
の れ ん ()	資 本 剰 余 金 ()
	利 益 剰 余 金 ()
()	()

計算はある程度取れるが、あと一歩足りない場合

例題をP/L・B/S区分を意識して復習する。
トレーニングなどが解ければ、
パワーアップ問題(なければアクセスの総合問題)

まずは正確に解く。



制限時間を2/3に縮めてみる。不要な下書きはないか？

テキスト切り替えについて

● 22目標が初学者だった場合

以下の科目について、8月末か9月末に掛けて、網羅的に復習を進めるにつれて更新。

- ・書き込みが多く読めない(特に財務理論)、すっきりした紙面にしたい
- ・新しい解説の方が使いやすいと感じる(財務計算のテキスト8など)
- ・心機一転新しいテキストで復習をしたい(わかったつもりでいたページも、かなり発見がある)

租税法と経営理論(テキスト3・4)については、改正が考えられるため、12月以降更新(23目標租税法テキスト①は配付済み。経営ファイナンスについては変えない)。

社会人かつ計算が苦手な方で、どうしても時間がない場合・・・監査論だけ更新(もしくは+財務理論テキスト)。

● 内容面でいうと、監査論の切り替えは必須。

テキストに図表・監基報番号・例示などが加わり、全300ページから400ページに増加しているため、短答答練などの参照ページがずれる。

インプットを丁寧にさらい直したい人は、Web論点別講義を受けながら進める。

● 22目標上級本科生だった場合

21目標テキストのまま使っていた場合、講義受講・テキスト刷新をしながら、**全体的な基礎のさらい直し**が必要なケースが多い。2年前のテキストは基本的には使わない。

テキスト切り替え時 反映するもの

必ず反映するもの（写すこと自体ではなく、網羅的な復習が大きな目的）

- 短答・論文の重要性（これは覚える!など）
- もしあれば、講義中のマーカー（財務理論 Web論点別講義でマーカー指示も実施）
- 今見ても重要だと思える書き込みだけ、書く。できるだけ余白を残す。

※22目標短答/論文答練の書き込み等は写さない。**23目標の最新版で実施。**

※**監査論は、マーカーを引き過ぎるとノイズになり地の文が読めなくなるため、**元々初学者向けの講義中も、マーカーの指示はされないケースが多い。
もしも重要なところを強調したい場合・・・**論文問題集の「point」該当部分を**
消せるペンで薄く引いたり、シャーペンでチェックする程度に。
すっきりとした紙面のままにしておく。

監査論テキストの改訂について

第2節 監査意見と監査手続

第2節 監査意見と監査手続

監査の目的は、財務諸表に対する意見の表明にあり、そのための監査の実施における最終目標は、監査人が自己の意見を形成するに足る基礎を得ることにある。

本節では、監査人がどのような論理過程を経て意見形成の基礎を得るに至るのか、その過程において監査人が選択適用する監査手続及び入手する監査証拠について解説する。

【学習上のポイント】

- ❑ 監査人は財務諸表全体としての適正性という大局的・抽象的命題をどのような過程を経て立証するか。
- ❑ 財務諸表全体としての適正性、財務諸表項目の適正性及び監査要点（アサーション）はどのような関係にあるか。
- ❑ 財務諸表項目ごとの監査要点として一般的なものとしてはどのようなものがあるか。
- ❑ 監査の過程において監査人は、どのような目的から、どのような監査の手法としての監査手続を用いるか。
- ❑ 監査要点が立証されるためには、監査証拠がどのような条件を満たしていることが必要となるか。
- ❑ 分析的手続は、監査のどの段階で、どのような目的で用いられるか。

【重要コンセプト】

財務諸表の適正性と監査要点（アサーション）
監査証拠の適合性と証明力
十分かつ適切な監査証拠と意見形成の基礎（意見表明の基礎）

【関連法令基準等】

- ・監査基準委員会報告書 500 「監査証拠」
- ・監査基準委員会報告書 501 「特定項目の監査証拠」
- ・監査基準委員会報告書 505 「確認」
- ・監査基準委員会報告書 520 「分析の手続」

《本テキストの主要な変更点》

前年度合格目標の上級テキストからの主要な変更点は、以下のとおりである。

(1) 入門テキストとの一体化等

法令基準等の制定改廃と直接関連しないが、当年度より入門テキストと上級テキストを一体のものとして作成している。これに伴い、一部構成を変更するとともに記述や図表を追加するほか、章を構成する節ごとに概要や学習上のポイント等を冒頭に示している（ただし、上級テキストは基本的に、従来から入門期で扱う内容を網羅しており、この点に変更はない。）。

なお、近年、監査実務指針の量が一層増していること、及び、論文式試験において配付される法令基準等が解答の参考となる出題の増加が見られることから、テキストで扱う内容に関連する報告書の参照項番号を付すこととしている（報告書の付録についても適宜参照を示しているが、報告書の付録は法令基準等に収録されない点に留意する必要がある。）。

(2) 監査基準の令和2年改訂に対応して改正された監査実務指針への対応

令和2(2020)年11月に改訂された監査基準に対応して改正された監査実務指針のうち、令和5(2023)年3月決算に係る財務諸表の監査から実施するものとされる以下のものについて、改正事項を反映するために記述を修正・追加している（第3章第4節1(3)①及び第5節（主に1, 3及び4））。

- ① 監査基準委員会報告書 315 「重要な虚偽表示リスクの識別と評価」
- ② 監査基準委員会報告書 540 「会計上の見積りの監査」

(3) 「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」による公認会計士法の改正等を受けて改正された監査実務指針への対応

改正により、監査報告書の署名について、自署又は電子署名によるものとされ、また、監査人が提供し、又は入手する書面（監査報告書、経営者確認書、監査役等とのコミュニケーションなど）について、書面又は電磁的記録と改められたことに対応して記述を修正している。

なお、TAC監査論研究会では、テキストについて、試験の出題傾向を踏まえ、出題可能性及び重要性並びに全体的な学習のバランス・効果・効率の観点から、毎年度全般にわたる見直しを行っており、上記のほか、必要な範囲で記述の充実及び削減並びに順列の整理を行っている。

具体的な数値例.

第2章 監査の実施

第2節 監査意見と監査手続

(3) 全般的な結論を形成するための分析的手続

監査人は、監査の最終段階において、企業に関する監査人の理解と財務諸表が整合していることについて全般的な結論を形成するために実施する分析的手続を立案し、実施しなければならない。^(*) [監基報520:5]

この分析的手続の結果から得られた結論は、財務諸表の個別の構成単位又は構成要素について監査中に形成された個々の結論を裏付けることが意図されており、監査人が意見表明の基礎となる結論を導くのに役立つ。

この分析的手続を実施した結果、これまで認識していなかった重要な虚偽表示リスクを識別した場合、監査人は、重要な虚偽表示リスクの評価を修正し、これに応じて計画したリスク対応手続も修正しなければならない。

(4) 分析的手続の結果の調査

分析的手続により、他の関連情報と矛盾する、又は推定値と大きく乖離する変動若しくは関係が識別された場合、監査人は、以下を行うことにより当該矛盾又は乖離の理由を調査しなければならない。[監基報520:6]

- ① 経営者への質問及び経営者の回答に関する適切な監査証拠の入手^(*)
- ② 状況に応じて必要な他の監査手続の実施^(*)

(*)1 全般的な結論を形成するための分析的手続は、リスク評価手続として利用される手続と同様である場合がある（次頁参照）。

(*)2 監査人は、企業及び企業環境に関する監査人の理解を考慮に入れ、監査の過程で入手した他の監査証拠とともに経営者の回答を評価することより、経営者の回答に関する監査証拠を入手する。

(*)3 例えば、経営者が説明できない場合や経営者の回答に関連して入手した監査証拠と照らして経営者の説明が不適切と考えられる場合には、他の監査手続を実施する必要性が生じることがある。

【例 示】 分析的手続のイメージ

① 分析の実証手続

固定資産台帳							(単位：千円)
	取得価額	期首簿価	耐用年数	減価償却方法	償却率	減価償却費	期末簿価
A備品	1,000	800	10	定率法	0.200	160	640
B備品	1,500	1,250	8	定率法	0.250	312	938
C備品	2,000	2,000	15	定率法	0.133	266	1,734
合 計	4,500	4,050				738	3,312

【アサーション】	期間配分（減価償却費）
【許容可能な差異】	50
【推定値】	加重平均償却率 0.182 (=0.200×(800÷4,050) +0.250×(1,250÷4,050) +0.133×(2,000÷4,050)
	減価償却費 推定値 738 (=4,050×0.182) ^(*)
	計上額 738
	差 異 0
【結論】	減価償却費の計上額は妥当

② 全般的な結論を形成するための分析的手続

勘定科目	20X1/3	20X2/3	増減額	増減率(%)	理由
現金預金	100	150	50	50	・・・
売掛金	200	240	40	20	・・・
受取手形	200	180	△20	△10	・・・
有価証券	50	80	30	60	・・・
・・・					
・・・					

全般的な結論を形成するための分析的手続においては、例えば、上記のように前期と当期の実績について比較分析を行い、財務諸表から識別される矛盾や異常な変動の全てについて、それが虚偽表示によるものではないことについて妥当な説明付けが得られていることを確かめることになる^(*)。

(*)1 上記例示のように総額に平均値を乗じることで概算額として推定値を算定して財務情報の合理性を検討する手法は、オーバーオール・テストと呼ばれ、減価償却費や利息について用いられる。

(*)2 リスク評価手続として実施する分析的手続においては、例えば、前期の実績と当期の予算について同様の比較分析を行い、通例でない又は予期せぬ関係の識別を通じて重要な虚偽表示リスクを識別することになる。

Ⅲ.各種質問・相談窓口等

校舎・zoom質問コーナー

科目ごとの内容質問・学習の進め方等について、講師に直接相談可能。
事前予約は不要。混んでいる時は15-20分ほど目安。

質問コーナー日程表(受講生HP「@C.P.A」)

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_gd_situmon.html



質問コ－ナ－日程表

TAC公認会計士講座 【関東地区 質問・相談コーナー】5月予定表 確定版

「質問・相談コーナー」(成績情報とは無関係)は、お申込みの方の受講情報にもご利用いただけます。ご利用方法は各会場にお問い合わせください。
 オンライン受講でもできる「質問・相談コーナーZoom」の利用方法は、TAC 8000L内のお知らせ(TOPページ)をご覧ください。

2022年5月6日

日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
会場	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
2	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
3	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
4	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
5	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
6	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
7	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
8	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
9	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
12	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
13	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
14	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
15	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
16	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
17	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
18	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
19	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
20	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
21	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
22	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
23	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
24	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
25	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
26	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
27	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
28	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
29	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
30	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
31	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
32	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
33	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
34	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
35	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
36	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
37	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
38	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
39	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
40	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
41	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
42	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
43	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
44	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
45	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
46	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
47	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
48	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
49	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
50	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
51	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
52	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
53	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
54	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
55	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
56	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
57	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
58	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
59	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
60	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
61	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
62	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
63	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
64	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
65	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
66	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
67	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
68	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
69	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
70	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
71	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
72	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
73	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
74	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
75	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
76	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
77	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
78	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
79	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
80	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
81	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
82	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
83	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
84	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
85	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
86	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
87	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
88	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
89	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
90	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
91	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
92	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
93	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
94	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
95	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
96	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
97	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
98	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
99	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
100	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」
リンクから待機室へ



個別成績・学習方法相談（久^く野^の/平林/蓮尾/塚本）

毎週土曜日13時～**次週1週間分**をネット予約受付
<https://tacschool.resv.jp/>

※校舎・zoomで実施しています。

※**通常の質問コーナー（予約不要）でも、
学習全般の質問を各講師が承ります。**

●個別成績・学習相談日程表（受講生HP「@C.P.A」）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/seiseki-sodan.html



TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

フリーダイヤル 0120-527-699 (平日14~17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

- ※ 監査法人への就活・転職以外にも、会計事務所等や一般事業会社への就職・転職や、仕事を辞めて受験専念にするか、卒業後働きながら受験を継続するか、受験対策を中断して就職する場合のエントリーシートの書き方等の相談など、TAC生はぜひお気軽に相談してみてください。
- ※ zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職サポートイベント情報

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support.html



重要事項の掲載場所/内容

※公式LINEアカウントを準備中です。

受講生サイト「@C.P.A」



受講生サイト@C.P.A.

- 講義日程
- 個別相談 ● 質問コーナー日程表
- 本試験解答速報等
- 合格体験記



合格体験記・合格者の声

Web school

- トップページ …… ● Zoom質問コーナー(予約不要)
- 「講座からのお知らせ欄」(毎週check!)
- 「学習フォロー」… ● 教材(進度表、論点チェックリスト等)
- 質問メール ● 正誤表
- 「学習記録」 …… ● 成績表

TAC公認会計士講座Twitter

TAC関西会計士Twitter

TAC講師 Twitter リスト

https://twitter.com/tac_cpa

<https://twitter.com/TACwestCPA>

<https://twitter.com/i/lists/1473831538869796864>



会計士講座
Twitter



TAC関西会計士
Twitter



TAC会計士講座
講師Twitterリスト

お知らせ

● 本試験合格者答案集 (素点・偏差値情報含む)

● 合格者からのメッセージ集 (模試・本試験成績等含む)

様々な合格者の詳細な体験記・実際の本試験答案・成績などを収録。

1点でどれだけ偏差値が動くか、どの程度書くと合格ラインに達するか、具体的なゴールの把握に活用する。

7/8(金)の上級期学習法ホームルームで加筆版を共有。

会計学午前(管理会計)第2問

素点 3/50 問題別得点 (調整後) 20.8/50 偏差値 41.6 併会 2-F 短答上級生 5→8月

(財務会計で挽回) 参考

井会 3-A
井会 4-B
井会 5-A

＜本人談＞
隣の人の電卓の音が大きく、息を取らせた。
(模試の時も経験)

メッセージ集「渡辺さん(仮名)」

問題 1
名称 ☒ 機能別組織

問題 2
A事業部の売上高利益率は17%である。B事業部の売上高利益率は31%である。したがって、B事業部の利益の収益性が高いといえる。

問題 3
事業部長はトータルマネジメントを推進する。同業他社との比較を行うことでB事業部自体の業績についての改善を判断しようとしている。

問題 4
ア ☒ 206,500,000 円 イ ☐ 円 ウ ☒ 65,950,000 円

問題 5
C事業部は経営レバレッジ係数が3.4である。D事業部は6.0である。したがって、D事業部の利益変化率が大きい。

問題 6
E事業部は使用費が多額であるため、総変率回転率も増加に注力すべきである。

①	②	③
866,282 円	271,347 円	-99,814 円

問題 2
試算する場合 試算しない場合
754,519 円 663,775 円

したがって、工場を拡張(すべきである。すべきでない)。いずれかを丸印で囲むこと。

問題 3
大工場建設を選択する場合 小工場建設を選択する場合
493,162 円 382,526 円

したがって、(大工場。小工場)を建設すべきである。いずれかを丸印で囲むこと。

問題 4
本問題では、新技術の開発による製品の陳腐化のリスクが考慮されていない。

メッセージ集 2022.3.23配付版 岸林

鈴木さん(仮名)の本試験答案は、本試験答案模範レジュメのうち以下を参照。
会2-A、模範1-C、短2-D、会2-D、短答1-B

鈴木さん(仮名)の全国模試と本試験成績

併会 2-F 短答上級生 5→8月

偏差値 41.6

併会 3-A
併会 4-B
併会 5-A

参考

井会 3-A
井会 4-B
井会 5-A

メッセージ集「渡辺さん(仮名)」

問題 1
名称 ☒ 機能別組織

問題 2
A事業部の売上高利益率は17%である。B事業部の売上高利益率は31%である。したがって、B事業部の利益の収益性が高いといえる。

問題 3
事業部長はトータルマネジメントを推進する。同業他社との比較を行うことでB事業部自体の業績についての改善を判断しようとしている。

問題 4
ア ☒ 206,500,000 円 イ ☐ 円 ウ ☒ 65,950,000 円

問題 5
C事業部は経営レバレッジ係数が3.4である。D事業部は6.0である。したがって、D事業部の利益変化率が大きい。

問題 6
E事業部は使用費が多額であるため、総変率回転率も増加に注力すべきである。

問題 7
本問題では、新技術の開発による製品の陳腐化のリスクが考慮されていない。

[MEMO]